

独立行政法人 放射線医学総合研究所の中期計画について
—中期目標の実現に向けて—

1. 研究開発推進の考え方

プロジェクト研究・・・中期目標に示された重点研究開発領域を計画的・効率的に推進するため、特に総合的・重点的に取り組むべき課題を設定

基盤的研究・・・・・・特定分野における研究を行うことにより、当該分野における専門的研究能力を高めるとともに、総合的研究に向けて基盤技術を提供するための課題を設定

理事長調整研究・・・・次期プロジェクト等のシーズとなりうるもの、先導的でリスクが大きな研究、緊急な対応を必要とするものについて、理事長の裁量による研究を実施

2. 業務運営の効率化

○行革・独法化の理念に沿った組織運営

- ・柔軟で開かれた組織運営の推進
- ・研究リーダー等の内部組織への必要な裁量権の付与
- ・研究評価結果が、研究資源配分に適切に反映できるシステムの確立
- ・外部資金獲得、自己収入、業務効率化のためのプログラムの作成
- ・若手研究職員の採用については、当初任期付きを原則とし、研究評価に基づいて終身雇用

独立行政法人 放射線医学総合研究所における中期計画の実施体制

プロジェクト研究

放射線先進医療研究	重粒子線がん治療臨床試験（治療技術の高度化） 高度画像診断技術（PET・MRI）
放射線感受性遺伝子研究	フロンティア型 オーダーメイド医療の実現
放射線人体影響研究	低線量放射線生体影響（中性子・複合効果・継世代） 宇宙放射線医学研究（航空機搭乗員・宇宙飛行士）
放射線障害研究	緊急被ばく医療対策研究（急性放射線障害治療）

萌芽的研究
課題の育成

競争的外部資金
獲得による研究

広報普及活動

効率的な運営

基盤的研究

環境系 環境放射線防護体系構築（影響評価パラメータ）
人や生態系への影響
ラドンの動態と生物影響

生物系 レドックス制御（活性酸素・ラジカル）
放射線障害の分子メカニズム
放射線応答遺伝子発現ネットワーク
実験動物の開発（遺伝子改変動物）
プルトニウム内部被ばくによる発がん

重粒子治療 重粒子線がん治療装置の小型化
照射方法の高精度化
重粒子線及び標準線量測定法の確立
重粒子線治療の普及促進
粒子線治療の生物効果
臨床試験評価のための情報処理
HIMAC共同利用研究

画像診断 PET・SPECT
NMR
らせんCT肺がん検診システム
放射光を用いた単色X線CT装置

医学利用放射線による患者・医療従事者の線量評価及び防護

脳機能研究

原子力基盤技術 修復機構のビジュアル化
放射性核種の動的解析モデル
マルチトレーサー 製造技術の高度化と応用
ラドン健康影響研究

国際共同研究 アジア地域の子宮頸がん放射線治療臨床試行

独立行政法人放射線医学総合研究所組織図

